源氏物語 夕顔 一帖

源氏十帖奥義之序

内閣文庫

東京帝国大学図書之印

うしの後世ことのかぎりなき奥義
をきゝまはりなくなりもてゆく
後なきれ色にるさうもの
うのまゝにあやまつ心も
きゝうしなくやわうこの
さしたる世さまにまかせ
仏事ことらの人ことにて
はさうもかくあやうしと成
仏のをしへみちをせてはん

[illegible]
[illegible]
[illegible]

めをあ雪ふるの松さらも
さらせハあらまをとゝきの
みとのうらやゝ人こゑ寒より
はるすゝとをはこ鶴くもる
こしぬきをとゝ人ゝ寒に
ふるうゝ雪あるうんあと
まてをとこうぬ訪ふを

十ゐ月ケ興義

相奏乃うゝを

法こハかゝてを法法きまり
きれとこのれ紙ふひ
紙ふ紙いあるを寒あれ
をとゝを
えん表乃世つを代を
せをひあてハ姫かゝらぬ
ふ乃法さゝめ安後を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国をあつけ給ふ紀氏
三年にて神ゝ於ん国を
あらためたまふ此ゝ
仁ゝをあつけまい
すけひらをあつけま
ふ
きひらの
うれハ三宝ゝ成ゝれ
ゝもゝをたまふ法
ふをあきらめたまへ
をけを相ゝ神ゝへ
奉ゝ

夕部乃書有
さあらひたゝハ此ゝとあり
よゝ〳〵ゝ神ゝをあらめ
ゝゝ〳〵ゝとあり
世ゝゝ如ゝハなゝに
さゝ〳〵ゝ
ゝあり
永安此ゝ
みゝ乃ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うしとまのたまひそめしを
まうけ給まゐらせたりしハ
まことに御の時中納言あき
よしのゝ卿まひたまひて
清衣をさまひしかハ
内大臣ゝまひ給へれ
らハゝれえん法皇御代
ゝを給ひなの世ゝの
ゝをふりよまして
義ゝゝ出給分まゝ
かゝと源氏の御ゝまゝハ

さとゝ人ゝ殿中将ゝゝゝ
をまひてゝゝゝゝゝゝ
かゝ給ひし御おゝ
まりよさゝゝゝゝ
給ゝゝ御ハゝ
ゝゝ殿ゝ代のまいあ
まりぬゝゝとのまゝ
おゝゝハおゝゝ
まひ出ゝゝし
ゝゝゝゝ

養老院こと

大和乃国の西ハ三ん度と
そうなとすうとハ清のう
毎も有る所ハ
とのかりあるを
所さい毎とはみる所の
り年のうちをつくるや
出和歌十月廿三日
後一條院乃御代行

年ゝ世乃高ハ清水寺のう
くゝ所ハ廣井ハ二十人
おかう所ゝ所ゝ
まゝ所ゝ所に
志ゝ所のゝ一人つゝ
ゝゝゝ志ハ城一負毎
ゝゝ所ゝ所ゝ
いゝ所ゝ所ゝ
物ゝ人を一負ゝ
ゝゝ所ゝ所ゝ
ゝの物ゝ養院のみ

[illegible]源氏[illegible]一負
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]源氏[illegible]
[illegible]書か
[illegible]

養和元年

源氏[illegible]と新[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ハ白[illegible]
[illegible]
[illegible]数[illegible]
[illegible]
[illegible]時[illegible]
[illegible]数[illegible]
[illegible]ハ源氏の[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ
[illegible]九の事[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

書ぶりなどはいとよくて
うるはしくかくをうのはの紙
にいとよく作りたる扇
ものをかくるもたん
の人とれば
れをかくるに源氏
ものとうへまくはかんの心も
かなりてたるこの人をと
まらぬさまにかくに人目
まれなる事ありけるをと
のみとのの使おさく

見てあとをまきわ
ひかれぬれば
まくちあるさはらるとふて
あるを
人れ
みさかはるる紙
きるをまのくあれば
つくるといふ
きいよちのいさを使

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
ありてをゆく[illegible]
ゆみのまぬすまたるゝ
ゝりて世ゝ[illegible]
いつりかとこたりハ二月
十四ゝ京中[illegible]
月よせしてゝ[illegible]
さんすゝまゝ代ゝ秋
第東ゝ[illegible]
たゝゝ[illegible]
[illegible]

[illegible]
ひ[illegible]
ゝほかりといふ事あり
悪い花物語[illegible]
四位[illegible]
[illegible]
[illegible]
たゝとあるハ[illegible]
けの事也[illegible]

時分ハ車ひとつ
ゆきてぬるあひだ
さしぬきあるハかりぎぬ
なとをとれくすれとも
おなりのくるしきを
ゐんしきんられさいわん
きんえんにはとひのさう
はくらハ手してたふ
ひるさとりしのしり
ひのしたいは車をおり
ありはくらいをちやくする

ひはしたいこの三七日よりそく
こもりのなりなし紙しをも
きくらをはこの為すること
いひくらはれたいやれ
ゐをいして参たいを
しきをひはこのやうこと
中也こうくうくうれも
下くあてもはこうひ
くうそいをひはしたいの日
はこの三七日はくらはの

孫義業[illegible]

四月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]八月七日[illegible]

書中[illegible]

人一目[illegible]

[illegible]

なを[illegible]七[illegible]八日[illegible]二日

[illegible]二日八[illegible]日[illegible]日

[illegible]七日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天曜文庫
中野目徳書
齋藤藏書